

## 様式 1

## 本事業の自走化計画

## ① 自走化の実現に向けた取組内容【2 ページ以内】

本事業の実施責任を含め大学のグローバル化全般の推進を担う「グローバル推進機構」の中に、自走化の実質的な計画を立案・実行管理する体制を立ち上げ、対応に着手する。

具体的には、グローバル推進機構長（副学長（国際交流担当）＝本事業の事業推進責任者）以下の構成員とともに、「大学教育統括管理運営機構」（グローバル教育カレッジが附属）から教育のグローバル化を担当するメンバーを加えた検討体を編成し、具体的な計画立案を行う。そして、グローバル化に関する全学会議のグローバル推進企画会議、学長をトップとする大学戦略会議等において内容を検討・決定し、施策を実施していく。



自走化へ向けた具体計画に関して、平成 29 年度中間評価時に示した本学の財政支援期間終了後の事業展開及び資金計画の内容を踏まえ、以下の観点から計画の再策定及びその実施を進める。

## 1. 経費削減を伴う自走化の計画

当初構想の目標（共通・独自の数値指標）の達成を引き続き目指す一方、本年作成したロジックモデルで示した中・長期アウトカムやインパクトを実現することを最優先としたアクティビティの見直しを行い、財政支援終了後の定着事業に関する計画を検討・策定する。選択と集中による事業のスリム化でコスト全般の削減を図るとともに、必要な人的リソースを可能な限り内在化させながら、事業を安定的に持続させることを基本方針とする。

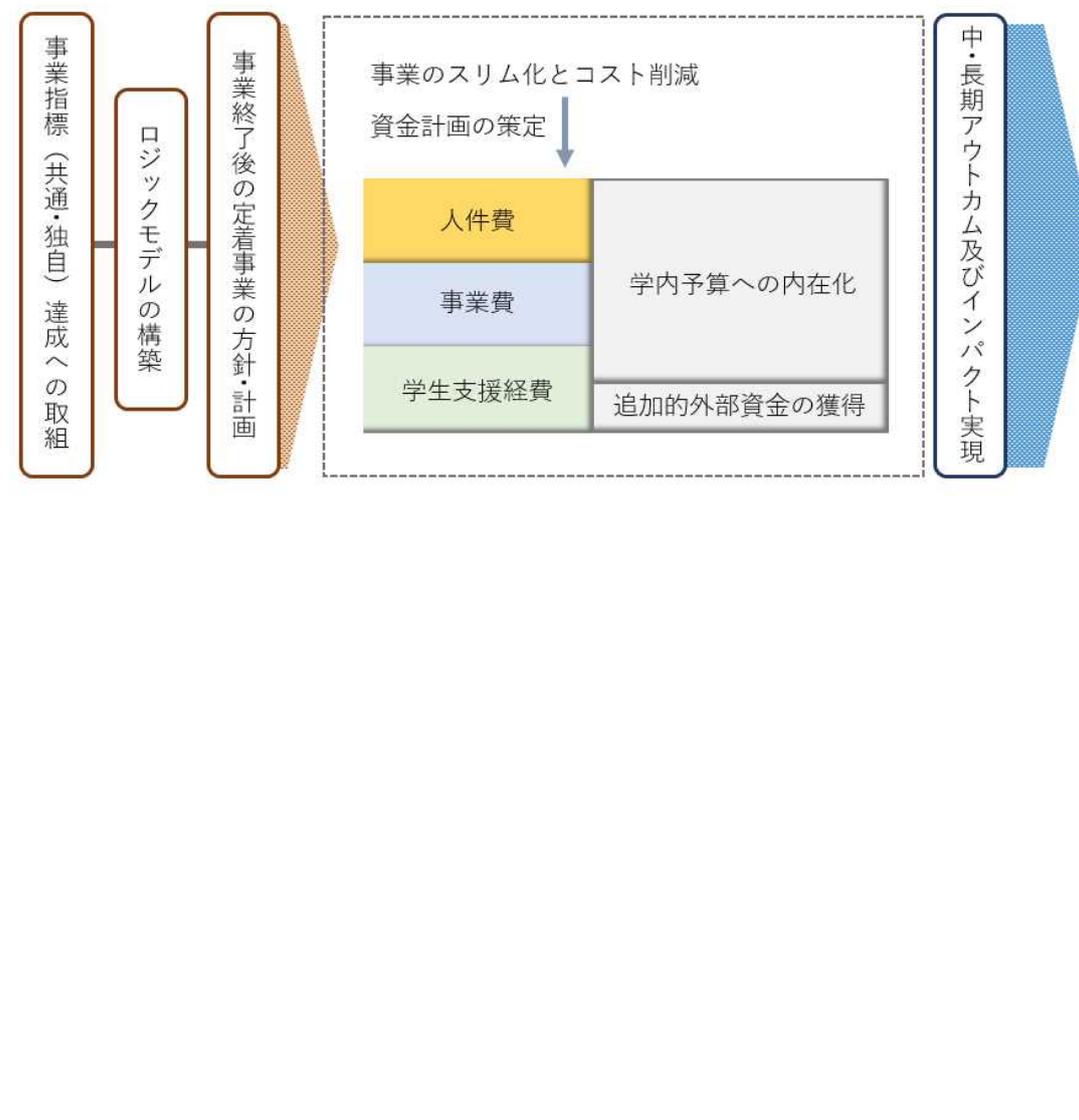
本事業による財政支援により、グローバル教育カレッジでは英語による教育を行うための特任教員を雇用しているが、既に今後の対応策の検討を行っている。

## 2. 学内予算への必要経費の内在化

事業内容とコストの見直しを行った上での必要経費（人件費、事業費、学生支援経費等）のうち、学内予算への内在化分についての方針及び詳細計画を策定する。

## 3. 新たな事業資金の獲得

学生支援経費を中心に、グローバル化のための持続的な事業推進に必要な資金を外部に求めるための方策を策定・実施する。



<b>② 取組内容の年度別実施計画【2ページ以内】</b>
<b>【2019年度】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・SGU 自走化委員会の設置</li><li>・事業の見直しと定着事業に関する方針の検討 (コスト削減、体制のスリム化と人的リソースの内在化)</li></ul>
<b>【2020年度】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・第2回中間評価を見据えた自走化戦略（事業の定着と持続）の策定</li><li>・必要資金の学内予算への内在化策の立案</li><li>・寄付金等の新たな外部資金獲得策の検討</li></ul>
<b>【2021年度】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・必要資金の学内予算への内在化措置の開始</li><li>・寄付金等の新たな外部資金獲得策の実行</li></ul>
<b>【2022年度】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・自走化計画の検証と改善（事業内容と体制・資金計画の更なる見直し）</li></ul>
<b>【2023年度】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・完全自走化への計画の確定（自走開始後のPDCAサイクルの策定）</li></ul>
<b>【2024年度以降】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・自走化状況の点検と改善</li></ul>